令和６年度（2024年度）

北海道大学スマート物質科学を拓くアンビシャスプログラム

（Ambitious program for smart materials science：SMatS）

プログラム生 　応募調書

1．申請資格等

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ローマ字 | Family name | | | First name | 性　別  ※番号に○ | 1.　男  2.　女 |
| フリガナ |  | | |  |
| 氏　　名 |  | | |  |
| 国　　籍 |  | 生年月日 | 年　　月　　日　生 | | 年　齢 | 歳 |
| 現 住 所 | 〒 | | | | | |
| 所属・  連絡先 | 大学院・研究室　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（内線：　　　　　）  e-mail：　　　　　　　　　　　　　 携帯電話番号：  ELMS ID：　　　　　　　　　　　　　学年： | | | | | |
| 学歴 | 1. 20　　年　　月　　　　　　　大学　　　　　 学部　　　　　　　学科卒  2. 20　　年　　月　北海道大学　大学院　　　　　　　　　　修士課程入学  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　専攻） | | | | | |
| 外国人留学生に対する奨学金等受給の有無  ※番号を○で囲む | | | | １．有　　２．無　　３．申請中 | | |

博士後期課程進学の決定時期：令和　年　月

採用後、および博士後期課程進学後に受給予定の奨学金、TA・RA経費

（申請中も含む。必要に応じ、記入欄を変更のこと）

奨学金名 　　　　　　　　　　　　 （　 月～　月）　月額　　　　　 円 総額　 　　　　円

TA・RA 経費 　　　　　　　　　　　 （　 月～　月）　総額　　　　　　　　　円

応募者の専門分野を１つ以上３つまで記入すること。令和５年度科学研究費助成事業「審査区分表」を参照：

<https://www.jsps.go.jp/j-grantsinaid/02_koubo/shinsakubun.html>

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 大区分 | 中区分 | 小区分 | 小区分の内容・説明 |
| 記載例） | D | 26：材料工学およびその関連分 | 26010 | 金属材料物性関連 |
| 専門分野1 |  |  |  |  |
| 専門分野2 |  |  |  |  |
| 専門分野3 |  |  |  |  |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 指導教員 | 所属・職名 | 氏名 | e-mail |
|  |  |  |

2．現在までの研究状況（以下の項目①-③に従い、記述すること. 図表を用いても良い．1ページ）

　①当該分野の重要文献などを引用しつつ, 研究の背景と目的を明らかにし, 研究の位置付けを明確に記述すること.

②過去の研究との違いを明らかにし, 独創性と特色について明確に記述すること.

　③申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について，問題点を含め①で記載したことと関連づけて説明すること．

　　なお，これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には，それらの内容を記述すること．

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |

3．これからの研究計画 (以下の項目①-④に従い、記述すること. 図表を用いても良い．自由形式、１ページ)

①研究課題名は現在の研究課題名と同じでもよい。ただし、現在の研究との相違点を明確にすること．

②研究計画の背景，着想に至った経緯等について参考文献などを挙げつつ明確に記述すること．

③本計画の意義と独創性について明確に記述すること.

④研究方法の具体的な内容を記述し, 研究計画・方法が適切であることを明らかにすること.

|  |  |
| --- | --- |
| 研究課題名 |  |

4．業　績（申請者にアンダーラインを付すこと）（１ページ）

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文及び著書（査読の有無を区分して記載すること．査読のある場合，印刷済及び採録決定済のものに限り，査読中・投稿中のものは除く）

①著者（申請者を含む全員の氏名，論文と同一の順番とする），題名，掲載誌名，巻号，pp開始頁－最終頁，年をこの順で記入すること．

②採録決定済のものについては，それを証明できるものを添付すること．

(2) 学術雑誌又は商業誌等における解説，総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別，査読の有無を区分して記載すること）

　　　著者（申請者を含む全員の氏名を，論文等と同一の順番で記載すること），題名，発表した学会名，論文等の番号，場所，月・年を記載

　　すること．発表者に○印を付すこと．

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

　　　(3)と同様に記載すること．

(5) 特許等（申請中，公開中，取得を明記すること．ただし，申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述でよい．)

(6) その他の業績（研究以外で特記すべき業績がある場合は記載すること．)

5．自己評価（1ページ）

1. 志望動機（本プログラムに参加する意義）．
2. 未来構想（将来の展望および,目指す具体的な将来像と本プログラムの関連）．
3. 本プログラムでは, 従来の物質科学の枠組みにとらわれない高い専門性である「スマート物質科学的デザイン力」に加えて，社会実装を実現する力（トランスファラブルスキル）としての「俯瞰力」，「人的ネットワーク形成力」，「国際的発信力」を養成することに主眼をおいている. 現状の自己分析を行い、「スマート物質科学的デザイン力」とトランスファラブルスキルを向上させるために本プログラムをどのように活用したいか記述すること.
4. 自己評価する上で，特に重要と思われる事項（自分の長所，特に優れた学業成績，受賞歴，飛び級入学，留学経験，特色ある学外活動など）．